

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡崎城西高等学校] 担当教諭名 [加藤 和恵] (英語部 15名)
 相手国・地域 [フランス]
 海外学校名 [Lycee Leonard de Vinci] 担当教諭名 [Emmanuel Franc]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	英語部	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Gender Equality
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	性別の垣根を越えて、誰もが平等にチャンスを与えられ、自由に選択ができる世界になって欲しい。



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsのテーマについて、他人事ではなく身近な自分事として考えられるようになった。 ・自分の考えや意見を周り共有することができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に解決策を考える際に、もう少し自分たちができる、自分たちから発信できる案を考えられるようになると、より良いと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・世界を取り巻く社会問題が、空の上の問題ではなく、自分たちの周りにもありふれている身近な問題だと認識を変えることができた。 ・自分たちにできることは何か、自分たちから行動を変えられるところはあるのか、を考えられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対して、無意識に教員側からリミットを設定してしまっている部分があったが、生徒の自由な発想や着眼点に気づかされるが多々あった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	① 各自インターネット等を使って、問題とその解決策について調べる。	より詳しく調べていく中で、問題に対する意識がより身近なものになった。	部活動
共有 相手と意見交換	6月 ～ 8月	② ①の内容を、4～5人の班で共有する。 ③ 共有した内容を更に議論し、自分たちに何ができるのかを考える。	はじめは班内でも意見交流を躊躇する様子が見受けられたが、少しずつ話し合いを深められるようになった。	部活動
融合 メッセージ作成	9月 10月	④ ②・③で議論した内容をもとに、このプロジェクトを通して伝えたいメッセージを考える。	共有した内容をもとに、自分たちが目指す世界はどんなものか、理想は何かを具体的に考え、議論することができた。	部活動
創造 壁画制作	11月 12月	⑤ ④で決めたメッセージからデザインの制作。 ⑥ デザインが決まったら、壁画制作開始。	デザイン制作は女子生徒が率先して行ってくれた。絵が形になるにつれて、生徒の表情もより楽しそうになっていった。	部活動
評価 振り返り 自己評価	3月	(春休み中に実施予定) ⑦ 完成した壁画を見て、活動の振り返りと自己評価を実施。	(春休み中に実施予定)	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	3	フランス側との交流が不足していたから。
主体的に考え行動する力	4	調べ学習や、少人数の班での意見共有の際に、リーダーシップを取って行動する生徒が増えたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	まだまだクリティカルシンキングの力は不十分に感じるが、他生徒との共有・議論の場面でモノゴトを多角的に考える力が付いたように感じる。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	フランス側との対話が少なかったことが非常に残念に感じる。生徒たちも物足りなさを感じていた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画制作の場面で、「この想いはこのデザインで」と一人ひとりがよく考え、アイデアを出してくれた。はじめはあまり積極的ではなかった生徒も、制作が進むにつれて、楽しそうに協力してくれた。